



SAP Ariba 

機能の詳細

コントロールの確認のスキップ

Riddhi Kumar, SAP Ariba
一般提供予定: 2021 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: コントロールの確認のスキップ

導入の難易度  ロータッチ/容易
対象エリア  グローバル

今までの課題

エンゲージメントを運用するため、ワークフローでコントロールの確認を完了する必要があります。しかし、状況によっては、コントロール有効性の決定を行うことができず、それでもエンゲージメントをブロック解除しなければなりません。ユーザーは、有効性の決定を行わずに、コントロールの確認を完了する機能を必要としています。

対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Risk

SAP Ariba で問題解決

この機能により、リスクエキスパートは、理由 (およびその他のドキュメントオプション) を選択して、この選択を正当化した場合、有効性の決定をスキップして、コントロールの確認タスクを完了することができます。コントロールの確認をスキップする理由コードを設定することができます。

関連情報

該当ソリューションを使用しているすべてのお客様は、この機能を直ちにご利用いただけますが、**お客様の側で有効化の手順を実行していただく必要があります。**

主なメリット

コントロールの確認者が、有効性の決定を割り当てることなく、確認タスクを完了することができます。

ユーザーは、この選択を行うため、理由を選択します。ユーザーは、後日コントロールを再確認する選択もできます。

エンドユーザーに提供される理由の一覧は、完全に設定可能であるため、業種にわたって柔軟な使用が可能になります。

この新しい状況および理由は、既存のリスクコントロールレポートで使用可能です。

前提条件と制限事項

コントロールベースのエンゲージメントリスク評価プロジェクトおよびコントロールの定期的な確認を有効化する必要があります。

この機能を有効化するには、顧客管理者がインテリジェント設定マネージャで以下の 2 つのパラメータを有効化する必要があります。

- コントロールの確認のワークフローを有効化する (Application.SR.Engagement.EnableControlReviewWorkflow)
- コントロールの確認に対して「有効性なし」オプションを許可する (Application.SR.Engagement.AllowNoEffectivenessOptionForControlReview)

機能の概要

説明: コントロールの確認のスキップ

スキップ理由を設定するための新しいサプライヤリスク管理ページ

Supplier risk administration

- Reports
- Configure risk exposure
- Import data
- Configure alerts
- Customize supplier alerts
- Engagement processing error report
- Content and service providers
- Adverse media feedback center
- Preparation for template upgrade
- Manage upgrades
- Configure periodic reviews
- Control effectiveness options**

Control effectiveness options

If your site allows skipping a control review, you can define up to 10 reasons. Here you can also start a background process to migrate existing control review decisions from the 2-level to the 5-level system.

Levels

- Completely effective
- Substantially effective
- Partially effective
- Substantially ineffective
- Completely ineffective

Skip control review **Reasons** [Edit](#)

- 1 Control not applicable
- 2 Policy exception
- 3 Risk accepted
- 4 Risk dispensed

Migrate control review decisions from 2 to 5

Skip control review ID	Reasons	Characters Remaining
1	Control not applicable	8 Characters Remaining
2	Policy exception	14 Characters Remaining
3	Risk accepted	17 Characters Remaining
4	Risk dispensed	16 Characters Remaining
5	UNDEFINED	30 Characters Remaining
6	UNDEFINED	30 Characters Remaining
7	UNDEFINED	30 Characters Remaining
8	UNDEFINED	30 Characters Remaining
9	UNDEFINED	30 Characters Remaining
10	UNDEFINED	30 Characters Remaining

[Apply](#) [Reset](#) [Cancel](#)

If you **change** a reason label, skipped control reviews using the old reason label will change to the new one. If you **remove** a reason label, skipped control reviews with the deleted reason will still show the old reason until you re-review the control.

1. 新しいページで、[サプライヤリスク管理] > [コントロール有効性のオプション] の順に選択します。
2. 設定可能な理由の一覧。コントロールの確認をスキップすることを選択すると使用可能になります。
3. スキップ理由一覧編集ビュー - 4つの標準理由を既定で使用することができますが、編集はできません。
4. 最大 10 個の理由の種類を定義することができます。通常の設定により、[その他] はすべての一覧に提供されています。

機能の概要

説明: コントロールの確認のスキップ

コントロールの確認のスキップ

The image shows a sequence of steps for skipping a control review. On the left, a control card for 'CD1_3' is in a 'Pending' state. An 'Action' menu is open, showing options like 'Skip control review'. A dialog box titled 'Skip control review' is displayed, with numbered callouts: 1 points to the 'Skip control review' option; 2 points to the 'Reason*' dropdown menu where 'Supplier unresponsive' is selected; 3 points to the 'Review again?' radio buttons, with 'Yes' selected; 4 points to the 'Supporting document' section where a file named 'Requirements.docx' is attached; 5 points to the 'Skipped' status on the control card; 6 points to the 'Review decision' field on the control card, which now shows 'Skipped: Supplier unresponsive'.

1. 新しい処理メニュー: コントロールの確認をスキップ

2. 理由の一覧 (SR 管理での設定に準拠) (必須)

3. 期限を設定せず、今後も [スキップ済み] の状況を維持するオプション

4. 補助ドキュメントをアップロードするオプション

5. 新しいスキップ済みコントロールのバッチ

6. 新しい確認の決定 – スキップ済み: <理由>